

授業科目名称 : 精神障害リハビリテーション論

授業コード : 54010

授業科目英文名称 : Mental Disorder Rehabilitation Theory

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	選択
担当教員			
丸山貴志 (実務経験のある教員)			
展開方法	講義		
ナンバリング	DE301		
添付ファイル			
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標		評価手段・方法
専門力	精神科リハビリテーションに関する用語の内容を正確に説明することができる。		定期試験
情報収集、分析力	課題の解決のために、専門知識を関係づけることができる。		課題レポート
コミュニケーション力	授業内で自分の意見を適切に伝えることができる。		ディスカッション内容
協働・課題解決力	精神科リハビリテーションサービスの実施機関・施設と関連事業について、グループで報告することができる。		グループ発表
多様性理解力	精神科リハビリテーションにおける重要概念を理解し、精神科リハビリテーションの構成について正確に説明することができる。		課題レポート
出席			受験要件
合計			100%

授業のねらい	この授業のねらいは、以下の3つを援助場面で活用できることにある。 ①精神障害リハビリテーションの概念とプロセス及び精神保健福祉士の役割についての理解 ②精神障害リハビリテーションプログラムの知識 ③精神障害リハビリテーションの実施機関と精神障害リハビリテーションプログラムの関連についての理解 また、ディプロマポリシーにある社会の課題に対する思考力、判断力、表現力を活用し、主体的に問題解決を行う力を養成するために、授業は、ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションによって展開する。そのなかで、学生が精神科ソーシャルワークの知識・技術を、自分の言葉で説明し、他者が理解できる表現の仕方について、具体的に学ぶことも重視する。			
アクティブラーニングの類型	①⑤⑥⑩			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明	定期試験 (60%) は、精神科リハビリテーションに関する用語の内容を正確に説明することができるかを評価する。課題レポート (20%) は、精神科リハビリテーションにおける重要概念を理解し、精神科リハビリテーションの構成について正確に説明することができる。また、課題の解決のために、専門知識を関係づけることができているかを評価する。さらに、精神科リハビリテーションに関するサービスについてのグループ発表12%、ディスカッション内容8%で評価する。すべての提出物は、次回の授業内およびポートフォリオにてフィードバックを行う。			
授業概要	精神科リハビリテーションにおける基本的枠組み、構成、プロセスと展開などについて概説する。授業では、ディスカッションやグループワークを活用しながら、授業内容の理解を深める。担当教員は、精神保健福祉士として医療機関の精神科で医療相談、ソーシャルワーク等、精神科リハビリテーションの実務経験があり、その経験に基づき授業を展開する。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分である。			
教科書・参考書・指定図書	教科書：最新・精神保健福祉士養成講座・3「精神障害リハビリテーション論」 中央法規 参考書：適宜指定する 指定図書：最新・精神保健福祉士養成講座・3「精神障害リハビリテーション論」 中央法規			
授業外における学修及び学生に期待すること	①授業内で、次回までの予習・復習を提示する。指定された内容を実施してくること。 ②出席は最低限のルールとする。 ③授業内での居眠りや私語、携帯電話の無断使用などは厳禁とする。			
授業計画	回	テーマ	授業の内容	予習・復習
	1	<u>オリエンテーション</u> <u>精神障害リハビリテーションの</u> <u>理念、定義、基本原則①</u>	授業の進め方について説明する。 精神障害リハビリテーションの理念、定義について学ぶ。	予習：教科書第2章第1節を読む。 復習：配布資料を読む。
	2	<u>精神障害リハビリテーションの</u> <u>理念、定義、基本原則②</u>	精神障害リハビリテーションの医学的・職業的・社会的・教育的リハビリテーションについて学ぶ。	予習：教科書第2章第2節を読む。 復習：配布資料で授業を振り返る。
	3	<u>精神障害リハビリテーションの</u> <u>理念、定義、基本原則③</u>	精神障害リハビリテーションの基本原則について学ぶ。	予習：教科書第2章第3節を読む。 復習：基本原則をまとめる。

4	<u>精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則④</u>	精神障害リハビリテーションとソーシャルワークとの関係について学ぶ。障害とニーズ、個人への介入、環境への介入について学ぶ。	予習：教科書第1章第1節を読む。 復習：配布資料で授業を振り返る。
5	<u>精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則⑤</u>	地域及びリカバリー概念を基盤としたリハビリテーションの意義について学ぶ。リカバリー概念、ストレングスモデルについて学ぶ。	予習：教科書第2章第4節を読む。 復習：福祉サービスの変遷をまとめる。
6	<u>精神障害リハビリテーションの構成及び展開①</u>	精神障害リハビリテーションの対象について学ぶ。	予習：教科書第3章第1節を読む。 復習：配布資料で授業を振り返る。
7	<u>精神障害リハビリテーションの構成及び展開②</u>	精神障害リハビリテーションのプロセスについて学ぶ。インターク、アセスメント、プランニング等の流れについて学ぶ。	予習：教科書第3章第3節を読む。 復習：プロセスをまとめる。
8	<u>精神障害リハビリテーションの構成及び展開③</u>	精神障害リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割について学ぶ。	予習：教科書第1章第2節を読む。 復習：配布資料で授業を振り返る。
9	<u>精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関①</u>	医学的リハビリテーションプログラムについて学ぶ。	予習：教科書第4章第1節を読む。 復習：配布資料で授業を振り返る。
10	<u>精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関②</u>	職業的リハビリテーションプログラムについて学ぶ。	予習：教科書第4章第2節を読む。 復習：配布資料で授業を振り返る。
11	<u>精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関③</u>	社会的リハビリテーションプログラムについて学ぶ。	予習：教科書第4章第3節を読む。 復習：配布資料で授業を振り返る。
12	<u>精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関④</u>	教育的リハビリテーションプログラムについて学ぶ。	予習：教科書第4章第4節を読む。 復習：配布資料で授業を振り返る。
13	<u>精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関⑤</u>	家族支援プログラムについて学ぶ。	予習：教科書第4章第5節を読む。 復習：家族支援プログラムをまとめる。
14	<u>精神障害リハビリテーションの動向と実際</u>	精神障害当事者や家族を主体としたリハビリテーションについて学ぶ。ピアサポータ、家族による家族支援等について学ぶ。	予習：教科書第4章第4節を読む。 復習：配布資料で授業を振り返る。
15	まとめ	全体を振り返り、精神障害者リハビリテーションについて学びを深める。	定期試験に向けた準備と復習を行う。
16	定期試験		